

社会福祉法人愛篤福祉会は、利用者さんが安心して暮らせる施設づくりを目指します

物価高騰

法人事務局長 木村 友美

令和三年の後半頃から始まった物価高騰は、四年過ぎた今でも終わりを迎えていません。買い物に行くと、数点しか選んでいないのに千円超えている、あれもこれも倍近くの金額になっている、そんなことに驚くことも少なくなり、慣れとは怖いなあ・・・とつくづく思います。とは言え、生きていくことに欠かせない米や食料品、燃料の高騰には頭を悩ませます。さて、今年の最低賃金は全国平均で、66円アップと過去最高の上げ幅となりました。早い所では10月から、福島県は来年一月一日から施行になります。給料が上がることはとてもありがたいことですが、それと比例するように物価も上がり続け、実質賃金はマイナスが続いています。

女性初の総理大臣となった高市総理が、所信表明演説で物価高騰対策を最優先に、経済対策の策定に着手するよう指示をしたと述べていました。財源の確保や制度の難しさもあるでしょうから、現実までの道のりは簡単ではなさそうですが、国民としては、スピード感と丁寧さの両方を期待したいところです。暮らしの安心が少しでも早く届くよう、期待していききたいです。

春夏秋冬

法人事務局 草野 晋

「日本には四季がある」古くから日本人は四季に合わせた暮らしをしてきました。

しかし、近年は四季ではなく二季になるのではと言われています。地球温暖化に伴う気候変動が理由とされていますが、「猛暑、酷暑の夏」と「極寒か温暖な冬」とその間に挟まれた二週間足らずの春と秋になるのではということです。

先日それを実感する出来事がありました。

稲刈りをしている田んぼの脇で、越冬のためにシベリアから飛来した白鳥の群れが落穂を食べていたのです。

周りの山では紅葉の真っただ中、冬の使者白鳥の飛来、まさに秋と冬の同居が垣間見られた瞬間でした。

この暑さはいつまで続くのかと思えた夏から一転、あつという間の秋の到来でしたが、もう冬がきているのかと思える出来事でした。

今年は秋刀魚も豊漁とのこと、束の間の秋を思う存分楽しみたいです。



ご協力有難うございました

工房阿列布秋まつりのバザーへの物品のご提供誠にありがとうございました。お陰さまで 77,895 円の売り上げとなりました。この売り上げは、施設整備資金として大切に使用させていただきます。



クリスマス会のご案内

日時: 12月20日(土)
 11:00~13:30
 場所: 正月荘
 参加費: 6,000 円

是非、ご参加ください



ニセ警察詐欺に注意！！



最近スマホに不審な電話が掛かってきていませんか？警察官を騙った電話が掛かってきているとの話が複数の職員から出ています。見慣れない番号からの着信があった場合には十分に注意してください

<寄付・物品寄贈の皆様>

渡辺和子 様、根本フク子 様、坂上隆二 様、石動弘子 様、山本輝人 様、馬場英子 様

<順不同です> ありがとうございます。